

ITS 関連のシステムの整理(案)

ITS 関連のシステムの整理に当たっては、ITS 推進の指針(日本 ITS 推進会議 2004 年 10 月発表)を参考に、以下の3つの分野に分類。

1. 安全・安心な社会の実現
2. 環境に優しく効率的な社会の実現
3. 利便性が高く快適な社会の実現

さらに、各分野を、①自律型アプリケーション、②インフラ協調型アプリケーションに分類し、今後実現が望まれるシステムを明確化。また、システムが明確化されたところで、システムごとに別紙のとおり具体的なサービス内容、使用希望周波数帯等の整理をする。

分 野	①自律型アプリケーション	②インフラ協調型アプリケーション
1. 安全・安心な社会の実現 ・道路交通の安全性向上	1-①区分 ・無線を使ったアクティブセーフティシステム	1-②区分 ・交差点における車両・歩行者等の検知システム ・車車間協調及路車間協調の安全運転支援システム ・歩行者・自転車・二輪車と走行車両を検知し、相互の位置や接近状況の情報提供システム ・自動化等による交通事故通報の迅速化、救急車両の現場への到達時間の短縮化
2. 環境に優しく効率的な社会の実現 ・交通の円滑化・環境負荷の軽減	2-①区分 ・	2-②区分 ・リアルタイム信号制御や環境対応型信号制御の導入による信号制御の高度化 ・駐車場予約システム、詳細な駐車場情報提供など、駐車場システムの更なる高度化 ・車両の自動認識システム

<p>3. 利便性が高く快適な社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の利便性向上 ・地域の活性化 	<p>3-①区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	<p>3-②区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害・緊急情報の提供システム ・障害者・高齢者の移動にとって、安全・確実・迅速な誘導・案内が行える移動支援システム ・共通 IC カード利用による支払いなどにより公共交通を利用したインターモーダルな移動の利便性向上
--	---	--

(参考文献)「ITS推進の指針」(日本ITS推進会議 2004 年 10 月発表)

分野	アプリケーションでの分類	具体的なシステム(サービス)内容の概要	使用希望周波数帯	当該周波数帯を希望する理由	ニーズ及び普及予測	ビジネスイメージ	標準化等の動向	導入希望時期	今後の課題
1. 安全・安心な社会の実現	①自律型								
	②インフラ協調型								
2. 環境に優しく効率的な社会の実現	①自律型								
	②インフラ協調型								
3. 利便性が高く快適な社会の実現	①自律型								
	②インフラ協調型								